



2019年秋

南魚沼の温泉旅館「ryugon」リニューアルオープン



1969年に創業し、米どころ、新潟県南魚沼市の山々に囲まれた地域で、今年50周年を迎える老舗旅館「温泉御宿 龍言」は、2019年10月、「ryugon」としてリニューアルオープンしました。

2万坪の敷地の中に地元六日町の豪農の館や、武家屋敷など8つの古民家を移築して作られ、文化財にも指定された旧「温泉御宿 龍言」は、独特の世界観から多くの著名人や文人から評価され、最近では将棋の竜王戦が開催されるなど、新潟を代表する旅館でした。その名は、戦国時代の武将上杉景勝公の父にあたる長尾政景公の菩提寺「龍言寺」の跡地に建てられたことに由来します。

リニューアルにあたり、その歴史は引き継ぎつつ、さらに、雪国の歴史、風土、文化、食生活を、旅館内、そして周辺地域へご案内する体験型アクティビティもご用意しました。

館内で雪国のリゾートをゆったり過ごすひととき、旅館を飛び出して南魚沼をお楽しみいただく時間など、ご自身のお好みに合わせてお選びいただけます。

豪雪地帯の雪国を豊かな暮らしの営みを、「ryugon」を起点にお楽しみください。

ryugon 概要

住所 〒949-6611 新潟県南魚沼市坂戸1-6

TEL 025-772-3470 FAX / 025-772-2124

交通 上越新幹線 越後湯沢駅下車

越後湯沢駅前「HATAGO井仙」より定時送迎あり*所要時間30分 予約制

JR上越線六日町駅東口より徒歩約20分またはタクシー約6分

Web <https://www.ryugon.co.jp/jp/>

FB <https://www.facebook.com/onsen.hotel.ryugon>



掲載についてのお問い合わせ先

ryugon PR SUPPORT | HOW INC. MAIL. pressrelease@how-pr.co.jp TEL. 03-5414-6405

ROOM

お部屋のカテゴリーは、大きく分けて2種類。

一戸建ての豪華なVILLA SUITEと、古き良き龍言の姿を継承するCLASSIC。

ともに、雪国らしさを感じられるしつらいです。

VILLA SUITE スイートルームで過ごす、夢のような日常 [面積 55㎡~92㎡]

貴賓室ともいえる広々としたヴィラスイートは、誰の目を気にすることもなくのびのびと過ごすプライベート空間。庭園を見渡す気持ちのよい景色と無垢の木を生かしたやわらかな質感の室内は、和風建築の最大の特徴である“風景とのつながり”をいかしています。雪国を感じさせる丸みのあるファニチャーは、すべて岡山県西粟倉村「ようび」がryugonのためにつくったオリジナルライン「snow cover」。無垢の板を削り出して作られた職人の手作りです。コーヒーマルで豆を挽く香り豊かなひととき、ふだんよりもゆっくりと時間を感じていただくため、あえてテレビは設置していません。お気に入りの音楽に満たされる極上の余暇をお約束します。

露天風呂

各室のテラスに設けられた露天風呂はすべて庭園に面しています。

春は花、夏は星、秋は月、冬は雪を愛でながら温泉につかり、ゆったりとしたひとときをお過ごしください。



©Satoshi Shigeta



©Satoshi Shigeta

CLASSIC 雪国の暮らしと文化になじむ、特別な日常 [面積 31㎡~42㎡]

長年に渡り雪国の暮らしを支えてきた、文化的価値のある建材をふだんに継承した和室。お風呂上がりに寝転んでくつろいだり、おしゃべりをしたりリラックスできるのも畳の空間ならではの。無駄を削ぎ落としたシンプルな室内は、照明を落とし、ほのかな灯りで穏やかな時間を過ごしていただけるよう、テレビのない空間としました。写経を希望されるかたにはフロントにて写経セットをお貸し出します。コモンスペースから流れるようにつながる各室は、昼に夜に雪国の地域文化を体感するアクティビティに親しみ、ラウンジやバーで過ごす時間を楽しみたい方、ひとり旅の方にもおすすめです。

建築

文化文政時代（1804~1829年）の地元の庄屋や豪農の館をそのまま移築しています。高松宮殿下が御宿泊された部屋や寄木細工があしらわれた部屋もあり、細部に職人の技が光ります。



STAY

新しいryugonはリニューアルに際し、四季を通して雪国文化を体験していただけるようなアクティビティやCOMMONスペースを充実させました。

温泉

六日町温泉の刺激の少ない柔らかなアルカリ性単純泉をひいています。内湯には時間をかけてゆっくりと浸かることのできる腰湯を新設しました。八海山の雪解け水が源となって醸された日本酒「八海山」から生まれたスキンケアシリーズ「cotte」のシャンプー、トリートメント、ボディソープをご用意しています。

放流・循環併用式（放流一部循環濾過方式）

利用時間 15:00～翌朝11:00（25:00～4:00 清掃時間）

ナトリウム―塩化物温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）PH7.6
24時間掛け流し。露天風呂あり。



囲炉裏ラウンジ

レセプション奥にある白い囲炉裏は、その周辺に腰掛けてくつろぐことのできるryugonのランドマーク。秋から春までは、囲炉裏のあたたかなゆらぎを眺めながら過ごすことができます。

壁際のブックシェルフには、ryugonがセレクトした書籍を置いています。幅広いジャンルから雪国文化にちなんだ本を集めました。

朝、昼、夜で内容を変え、焼き菓子やスナック、ドリンク類を提供しています。



©Satoshi Shigeta



©Satoshi Shigeta

ガーデンラウンジ

宿の敷地よりなだらかにつながる坂戸山の稜線や、豊かな水に満たされた庭園を眺めながら過ごすことができます。天気の良い日には、屋外のテラスでくつろぐことも可能。ディナーをご予約のお客様はこちらでアペリティフ（食前酒やおつまみ）を楽しむことができます。



©Satoshi Shigeta



©Satoshi Shigeta

登録有形文化財

レセプションは、母屋に中門とよばれる突出部をもつ「中門造」。

豪雪地帯にみられる雪の中でも出入りしやすい建築様式は、豪農の館の記憶をそのままに受け継いでいます。

国の登録有形文化財にも指定されているレセプションでお客様をお迎えます。



©Satoshi Shigeta



©Satoshi Shigeta

LA VILLA SPA with TEMAE

古民家を移築した蔵の中に新たにスパを開業しました。茶道のお迎えの所作であるTEMAE（手前）から考案したスパは、茶葉から抽出された成分を使いトリートメントを行います。お茶がもたらす癒しは肉体の美だけでなく精神面の美も創造します。

雪国GASTRONOMY

雪国で昔から食べ継がれてきた野の食材、民俗文化を今に伝える伝統料理などをベースにした雪国ガストロノミーをご用意しています。

ディナーは、地元の食材や、雪国ならではの保存食の文化を料理を通じてご提供します。旬の地の恵みを職人がじっくりと炭火で焼き上げる「立焼」*を含む和のフルコースをご用意しました。龍言より人気を博していた炭火焼、立焼をその場で提供できるようにレストラン中央部に囲炉裏を配しています。地元の日本酒やワインとともにお楽しみください。朝は、精米したて、炊きたての魚沼産コシヒカリを新潟のおいしい食材と一緒に堪能できる朝食御膳をご用意します。*立焼：龍言造語であり名物。リニューアル前から炭火で魚や肉焼いてお客様にご用意しており、その名称を「立焼」と謳ってきました。



GASTRONOMY WORK SHOP

土間ではryugonで提供される漬物などの保存食づくりを見学できます。また今では珍しい釜戸を使い、雪国の伝統的な家庭料理を作って、食べる有料のワークショップも開催します。（予約制。3日前までにお申し込みください。）

料金お一人様 4,500円（調理体験費用、食事代含む）

時間 11:30～13:00（11:00受付）



ARCHITECTURE

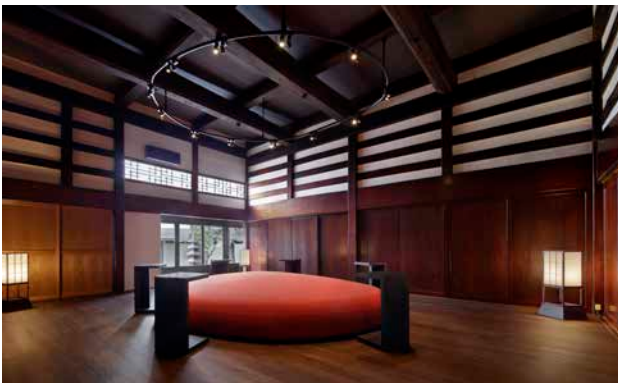
あしだ まさと
蘆田 暢人



建築家。蘆田暢人建築設計事務所 代表、ENERGY MEET 共同代表、Future Research Institute 共同代表、千葉大学非常勤講師。1975年京都生まれ。1998年京都大学建築学科卒業、2001年京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。2001-2011年内藤廣建築設計事務所勤務。2012年(株)蘆田暢人建築設計事務所設立。同年(株)ENERGY MEETと共同設立。2017年より千葉大学非常勤講師。2018年(株)Future Research Instituteを共同設立。代表作に「折板屋根の家」、「松之山温泉景観整備計画」、「キールハウス」、「ryugon」など。これからの建築士賞、グッドデザイン賞、神奈川建築コンクール優秀賞など受賞多数。

厳しさを豊かさに反転する建築 蘆田暢人

新潟県南魚沼市にある創業約50年の老舗温泉旅館「龍言」の改修プロジェクト。この地域は積雪が2mを超える豪雪地帯である。過酷な冬と雪を、自然から与えられた恵みとして捉え直して活かし、雪国を象徴する新しいサスティナブルな旅館として再生することを目指した。建物は19世紀に建てられた古民家を移築してつくられており、豪雪に耐えるための骨太で重厚な佇まいを今に残している。一部は国の登録有形文化財に指定されている。大きな池をもつ大庭園もただの庭ではなく、屋根から落ちてきた雪を解かすための機能を担っている。雪国の建築は雪に対峙するために、極めて機能的で即物的な形状をもつ。しかし、雪への抵抗は、ともすれば自然との関係を切断することにもつながってしまいがちである。建築が雪や寒さから人を守ろうとするあまり、豊かな自然の恵みを遠ざけてしまう。国の指定文化財である坂戸山を借景としてもち、街なかにながら豊かな環境に囲まれているこの龍言がまさにそうであった。我々が試みたのは、建物の閉塞的な要素をすべて取り除くことであった。窓もなく閉ざされた長い廊下を外部化して風景や風との接点を増やし、風通しを確保するために一部の棟を解体した。徹底的な引き算のデザインを行い、建築と自然を接続が接続されることで、歴史を引継ぎながら雪国の四季の豊かさという全く新しい価値を感じることできるryugonへと生まれ変わった。



©Satoshi Shigeta



©Satoshi Shigeta



©Satoshi Shigeta



©Satoshi Shigeta

RYUGONのこだわり

雪国文化

四季を通じて雪国を豊かに楽しみ感じる宿です。約8000年前の縄文時代からこの地が続く、雪と共生しながら育んできた雪国文化。豪雪地帯の暮らしの営みは、建築から食まで、脈々と現代に受け継がれています。雪がくれた心ほどけるひとときのなかでこそ感じられる雪国文化の美しさと地の滋味をお楽しみください。

CLASSIC（古民家棟）の補修と改装

後世に残していきたい職人の技術、稀少な国産材が残る和の空間を、今後も継続的に、ryugon独自の解釈で上質な“しつらえ”に変えていきます。

土間での体験型アクティビティ

雪国の文化体験ワークショップを開催しています。秋は収穫したての新米を中心にした郷土料理づくりや裏山で採集したきのこを実際に調理するなど、雪国の暮らしの知恵を体験しながら楽しく学んでいただきます。

森を招き、里山とつながる。自然と共存する試み

- ・国指定の文化財となっている直江兼続ゆかりの山城跡である坂戸山からryugonの庭園へとつながるランドスケープの整備を継続的に行っています。伐採され、植林された杉林を、数十年かけて、もとの姿へ戻し、豊かな生態系をつくりあげます。記念植樹など、ゲストの皆様にも参加していただけるプログラムを準備中です。プロジェクト見学ご希望の方にはツアーも行っています。
- ・夏は井戸水を使った冷房システムを取り入れ、環境負荷を低減しています。
- ・リニューアルにあたり全面改装したVILLA SUITEの客室は電磁波を発生しない半導体熱の床暖房を全面使用。窓も大きく、広々とした室内でも足元から暖かく過ごすことができます。
- ・半導体の素早い揚温特性を活かすために、パルス制御をかけ、従来の電気使用量を従来の1/3程度に抑えることに成功しました。
- ・館内はLEDの電球色使用し、照度を極力抑さえています。日本の伝統的家屋はろうそくの明るさでその美しさが映えると言われてきた昔の生活文化に想いを馳せながら、280年の風雪を生きてきた建物と共に時空の旅を体感いただけます。
- ・坂戸山の庭園側を照らす照明は植物や虫を刺激しない照度に設定しています。季節ごとに照明の色が変化するようにプログラミングされており、それぞれの季節にあった調光を行います。

Universal

世界中のお客様の多様なニーズにあわせハラルやビーガンなどにも対応しています。

リニューアル

1. 一部のお部屋をVILLA SUITEへ改装
2. ラウンジやバーなどのコモンスペースを新設
3. 豊かなこの地の食を堪能できるガストロノミーエリアの新設
4. スパの新設
5. 雪国の暮らし文化を継承するための体験型アクティビティ

